学びと実践でみんなで描く岸和田市立図書館像

図書館ミーティング（マジミエ図書館 Z）通信

第2号

2021 年 8 月発行

図書館ミーティング第２弾を開催しました

図書館ミーティング開催報告

マジミエ図書館 Z 第２弾！
「話そう、みんなでこれからの図書館」
７月 17 日（土）　午後１時～３時
図書館３階自習室　参加者　２２名

講師　岡本　真氏（アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役）

ワークショップ

一人ずつ、１枚のシートと色違いの筆記用具を持ってスタート。２人１組になって、話し手が「私が考えるこれからの図書館」について語り、聞き手がその話し手のシートに書き留める。これを、相手を替えながら３セット繰り返すというワークショップを実施しました。

自分の言葉が相手にどう伝わるのかを確認しながら、自分の考えを整理するこのワークショップ。参加者のみなさんが考える「これからの図書館」を語っていただきました。

高校生から８０代の市民の方が発表してくれました！

岡本さんからのアドバイス

いずれ、必ず、〝選択〟は迫られるもの。
市民ミーティングで出てきた多様な意見・アイデアは現時点では切り捨てない。
【Want】→【Why】それが図書館である必要性・意味。図書館は、知的欲求を保証するもの。

【Who】→誰が、は〝市民〟であるべき。自治体の当事者であり〝投資家〟。ただし昔のような〝市民（住民）運動〟でやっていた署名活動などはダメ。当時は投票率も非常に高く、政治・行政として動く基盤となったが、今は違う。→【How】に続く。

【When】タイミングとしては、来年市制施行 100 周年は狙い目。今後こういったものを持ちたい、こういった事業を進める、という起点に相応しく考えやすい。

【How】コストとして誤って切り捨てたものも、検証の上で戻してみる、といったこともあり。産（業）官学民、それぞれがプレイヤーとなって関わり、一体となって取り組むことが重要。（例：デンマーク、和歌山市・泉大津市における南海）

→良い提案を作って投げかける。実現することにプラスに感じられれば、物事は動くもの。

橋本館長

岡本さんのアドバイスを受けて、学びと実践の場をたくさん作っていきたいと考えていますが、８月の視察は中止となりました。

次回、図書館ミーティングは 10 月 16 日（土）の予定ですが、その他の企画も決まり次第、ホームページでお知らせします。

随時、チェックしてみてください。図書館のいろいろな取り組みも知ってもらえると思います。

当日の資料や、積極的な意見交換は、毎回多くの気づきがあります。
図書館のホームページで掲載していますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ：岸和田市立図書館　072-422-2142